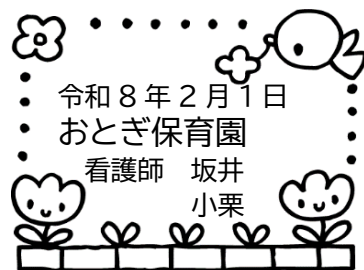




2月のほけんだより



令和8年2月1日

おとぎ保育園

看護師 坂井
小栗

寒さが厳しい毎日。休みの日には家にこもりがちになります。寒い冬を元気に乗り越えるため、天気の良い日は積極的に外遊びにでかけましょう。

さて、2月になり発表会が近づいてきて、子どもたちが一生懸命練習している姿を見かけます。全員が元気に参加できるように、寒い時期ですが、定期的に換気するよう心がけるなど、感染症対策に努めていきます。

おとぎ先月の感染症

- ・インフルエンザ 16名
- ・溶連菌感染症 2名

先月は、年始からインフルエンザの感染報告が多くありました。
まだまだ感染症が流行しやすい時期です。手洗い・うがいやこまめに水分を摂るなどの感染対策をしましょう。



嘔吐物の処理方法



〈必要なもの〉

- ・使い捨てエプロン1個
- ・使い捨てマスク1個
- ・使い捨て手袋2セット
- ・新聞紙や雑巾など10枚くらい
- ・大きいビニール袋2枚、小さいビニール袋1枚
- ・消毒液1本→ハイター液10mlと水500ml
(ペットボトルキャップ1杯が5ml)

※消毒液は処理する時に作りましょう。

〈手順①〉

- ・嘔吐物に新聞紙をかける。
- 乾燥するとウイルスが拡散するためそれを防ぐ。
- ・窓をできる限り開けて換気する。
 - ・エプロン、マスク、手袋を2重にしてつける。
 - ・子どもの服や食器等がよごれた場合は、嘔吐物を拭き、ビニール袋などに入れ密閉しておく。



〈手順②〉

- ・外側から中央にいくように嘔吐物を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・1枚目の手袋を外し、ビニール袋に入れ、消毒液を1/3入れて袋の口を閉じる。
- ・嘔吐があった場所より広く新聞紙をおき、上から消毒液をかけ、10分浸ける。



〈手順③〉

- ・外側から中央にいくように消毒液を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・エプロン、マスク、手袋を外し、1つ目のビニール袋と一緒に袋に入れ、2重にして袋を閉じる。もし消毒液が残っていたら入れる。



〈手順④〉

- ・うがい、手洗いをする。手洗いは2回する。
- ・換気は1時間ほどする。
- ・嘔吐物で汚れたものは、消毒液に浸けられるものは消毒液(ハイター液5mlと水500ml)に10分浸け、できないものは85℃以上のお湯に1分浸けてから洗濯する。スチームアイロンや乾燥機も有効。

